

日野絵葉書コレクション 故日野顕立氏が明治40年代の東京高等師範学校在学中から太平洋戦争末期の昭和19年までの期間に収集した絵葉書約 2,500枚です。国内外を30種類に地域分類しており、その内容も多岐にわたっています。各地の観光地の風景などに加え、戦争関係のものも数多く含まれ、当時の激動の歴史や人々の生活・風俗などを知ることができます。



「山形霞城外濠ノ景」 山形市吉野屋絵葉書店製

## 【教育】

### 訂正小学校読本掛図

この掛図は、明治31年(1898)に金港堂より発行されました。前綴は、カタカナ、後綴はひらかなを学習するようになっています。1枚目は「メ(目)ハ(歯)」2枚目は「ハタ(旗)タコ(凧)」と単語から始まり、「うしとうま」、「くろいいぬ」などの短句に進み、「せみがなく」、「ほんのうへにこつぶがある(盆の上にコップがある)」のような短文の学習で終わります。いずれも絵を用い、児童の心理に合わせて理解しやすく覚えやすい構成になっています。



読本掛図「うしとうま」

文部省検定期のものですが、明治37年からの第一次国定読本にも一定の影響を与えています。

## 主な展示資料

資料名	点数	備考
デスモスチルス白歯化石	3	
黄銅鉱	3	多田慎次氏収集
方鉛鉱	3	〃
水晶	2	〃
閃亜鉛鉱	1	〃
菱マンガン鉱	1	〃
鯨化石	2	富澤 尹氏寄贈
鯨化石	1	五十嵐進氏寄贈
現生マッコウクジラ歯	5	浅黄直助氏寄贈
山形県初採集の植物		
カラフトメンマ	1	佐川 昇氏寄贈
ハコネシケチシダ	1	〃
カスミムグラ	1	鈴木 暁氏寄贈
タマジロイチゴツナギ	1	土門尚三氏寄贈
ケナシイワハタザオ	1	〃
イイデトリカブト	1	〃
クロバナロウゲ	1	加藤信英氏寄贈
キクバドコロ	1	青柳和良氏寄贈
世界のウスユキソウの仲間	27	山下一夫氏寄贈
世界のくだもの切手	392	平 弘 氏寄贈
海産貝類標本	800	日野顕正氏寄贈
アカエゾゼミ体色変異個体	1	長谷川守男氏寄贈
ホンダタヌキ	1	松沢直太郎氏寄贈
オオコノハズク	1	奥山秀弥氏寄贈
ゴイサギ	1	志田 傳氏寄贈
アオウミガメ	1	植松真弘氏寄贈
古銭(山形市大森山出土)	40	安孫子順也氏・小林一氏・多田健二氏 寄贈
山形市内無尽講資料	30	福島 坦氏寄贈
旧庄内藩土白井家旧蔵文書	11	多々定治氏寄贈
旧式写真機一式	7	船山 明氏寄贈
旧式写真機	1	鏡三千男氏寄贈
旧式写真機	1	鳥山啓介氏寄贈
日野絵葉書コレクション	100	日野顕正氏寄贈
訂正小学校読本掛図	1	
幻燈機	2	
小中学校指導用スライド	15	
学校教育用視聴覚機器	5	渡辺 一氏寄贈

平成7年度

## 新収蔵品展

1996

2月10日(土) ~ 4月14日(日)

山形県立博物館

### 開催にあたって

この企画展は、博物館の収集・整理活動のまとめとして毎年開催しているもので、この度は平成7年度中に新しく収蔵した資料や、整理の終わった資料の中から、県民のみならず、興味深い、貴重な資料を選んで展示するものです。

本展を開催するにあたり、資料をご寄贈くださった方々や、収集活動にご協力いただいた方々に、厚くお礼申し上げます。

# 展示解説

## 【地学】

**デスモスチルス** 標本はアメリカ産の菌の化石です。この動物は、約1,500万年前に日本各地やアメリカ西海岸地域の環太平洋地域で栄えた草食の哺乳類で、短期間に急速に繁栄して絶滅しました。デスモスチルスの名前は、現生の哺乳類にはみられない、円柱を束ねたような特異な形態の菌に由来しています。ただし、生態については多くが謎のままです。東北地方でもこの時代の各地の地層から化石が産出していますが、山形からはまだ発見されていません。今後の発見が期待されます。

**山形の鉱物** 山形には、かつて数多くの金属鉱山があり、様々な鉱物を産しました。鉱床のタイプとしては鉱脈鉱床が多く、最も多いのが銅・鉛・亜鉛に関係する鉱物で金・銀やマンガン・モリブデン・タングステンなども産しました。地球の営みのなかで、今も鉱物は生成したり消滅したりしています。

## 【植物】

**山形県初採集の植物** やまがたのおしば・植物画展に寄せられた237点の植物標本の中から、今年度本県で初めて採集された植物8種を紹介します。

**世界のウスユキソウの仲間** 故山下一夫氏から寄贈された植物コレクションの中から、アルプスの名花「エーデルワイス」類似の標本27点を展示します。日本のミヤマウスユキソウをはじめ世界各地から収集したものです。

**世界のくだもの切手** 昭和33年から36年まで山形県農林水産部農政課長をつとめられた平弘氏が収集した世界のくだもの切手392種類を展示します。これらは、本県農業の振興に資するために平氏が長年にわたり収集したもので、県に寄贈され、本館で保管しているものです。



さくらんぼの切手  
(ハンガリー1986年発行)

## 【動物】

**日野顕立氏採集海産貝類標本** 故日野顕立氏は、明治21年に東村山郡山寺村荒谷(現天童市)に生まれ、山形中学校をへて東京高等師範学校国語漢文科に学びました。卒業後は、三重県立師範学校、奈良県立五条中学校、沖縄県立師範学校の教官を歴任しました。今回、展示されている海産貝類標本は、この沖縄県立師範学校在任中の大正3年から5年(1914~1916)の3年間に収集されたもので、およそ250種、800点を数えます。本州南部以南の暖海産の巻貝類が中心で、東日本では見られないものがほとんどです。理科教材にする目的で採集したものと思われそうですが、ラベル等は全くなく、分類同定もされぬまま眠っていたものです。

**アカエゾゼミ体色変異個体** 長谷川守男氏が8月に上山市蔵王坊平で採集した黒色素を欠く個体で、ごく稀に現れるものです。



マンボウガイ



アカエゾゼミ変異型(右)と正常型(左)

## 【考古】

**山形市大森山出土の古銭** 昭和46年、山形市の中心街から東方へ約6kmに位置する大森山より出土した中国製の古銭です。山頂からは、昭和33年に鎌倉時代の経塚が発見され、銅製経筒・甕・石蓋が出土していますが、古銭との関連は不明です。

古銭には、縄の炭化物が付着していることから、おそらくワラ紐に通されたものです。容器などは見つかりません。たぶん木製の容器に入っていたか、土中に埋蔵したものと考えられます。

出土した古銭は、総数937枚、銭貨40種類です。内訳は、唐朝2種60枚、五代十国期2種2枚、北宋期28種847枚、南宋期8種17枚、解読不能・破銭11枚で、北宋期が圧倒的多数を占めます。

銭貨は、北宋期の皇宋通宝137枚・元豊通宝104枚・熙寧元宝100枚・元祐通宝97枚、次いで唐期の開元通宝が57枚の多くを数えます。書体には、楷書・行書・隸書・篆書の5種類が認められます。

## 【歴史】

**明治~昭和期 山形市内無尽講資料** 山形市三日町の旧家、福島治助家が関係した無尽講の通帳や規約、借用証などです。



無尽講は頼母子講とも呼ばれ、古くから行われた庶民金融の組織です。組合員(会員)が一定の掛金を払い、抽選または入札で組合員に融通しました。

福島家が関係した無尽講は山形共益貯金会(明治28~39年)・山形有慶会(明治43~大正9年)・富源共賛会(大正13~昭和9年)など23種にのぼります。通帳の内容はほとんどが掛金受領証・規約・会員名簿からなっており、「会員相互資金ノ融通」を目的とし、会員には地主や酒造家等々、山形市内や周辺町村の素封家・有力者が名を連ねていることが分かります。

**旧庄内藩士白井家旧蔵文書** 文政10年の「勤書覚」や明治6年の「地租上納帳」が含まれています。「勤書覚」には、致道館の創設など庄内藩の寛政改革を主導した白井矢太夫の事績が記録されています。

## 【民俗】

**旧式写真機** 山形市香澄町でかつて「船山写真館」を営んでいた故船山新作氏が昭和10年代に購入して営業写真用に使用していた写真機一式です。写場用暗函と呼ばれたアンソニー型繰り上げ台のスタジオカメラや暗函用広角レンズ、暗函に使ったガラス乾板、また当時普及していたドイツ製写真機(ハンドカメラ)など、今はあまり見られなくなってしまった貴重なものです。合わせて、鏡三千男氏、鳥山啓介氏寄贈の写真機も紹介します。